

伊藤さくらとその仲間たち

～名曲とめぐる時空を超えた世界の旅～



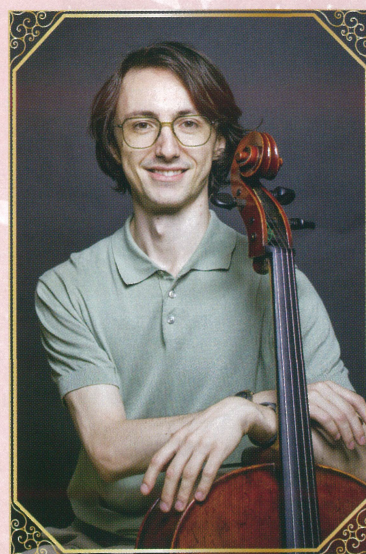
ピアノ

岸元大周



ヴァイオリン

伊藤さくら



チェロ

グスタフ・ヴォツヒヤール

演奏予定曲目

ブラームス：ヴァイオリンソナタ『雨の歌』第1楽章

シューベルト：アルペジオネソナタ 第1楽章

チャイコフスキー：花のワルツ
(グスタフ・ヴォツヒヤール編曲)

ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ

ショスタコーヴィチ：セカンド・ワルツ
(グスタフ・ヴォツヒヤール編曲)

ピアソラ：リベルタンゴ 他

日時

令和8年 **8月8日(土)** 14時開演(13時30分開場)

場所

神河町中央公民館グリンデルホール

鑑賞料

無料【全席自由】



神河町公式ホームページ

お問い合わせ

神河町中央公民館 TEL:0790-34-1450 FAX:0790-34-1285

〒679-3116 兵庫県神崎郡神河町寺前64番地 9時～17時【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)

【主催】神河町、神河町教育委員会【後援】神河町文化協会



伊藤さくら (Sakura Itoh) — ヴァイオリン

兵庫県立龍野高校卒業。佐渡裕とスーパーキッズオーケストラに在籍し、2010年度コンサートミストレスをつとめる。桐朋学園大学で学んだ後、2014年チェコ国立ヤナーチェク音楽アカデミーに入学、F.ノボトニー氏に師事し、学士課程修了。その間、EUエラスムス制度にて1年間ウィーン国立音楽大学で、R.キュッヒル氏に師事。リンツブルックナー音楽大学オーケストラアカデミー修士課程を最優秀の成績で卒業。2023年より再び、ウィーン国立音楽大学の室内楽修士課程に在学中。2018年よりチェコフィルハーモニー管弦楽団のアカデミー生として、世界各国のツアー、プラハの春音楽祭などに出演。常任指揮者のS.ビジュコフ氏によるチャイコフスキー・プロジェクトにも携わりCDレコーディングを行う。現在、チェコ国立ブルノフィルハーモニー管弦楽団セカンドヴァイオリンの副主席奏者をつとめている。また、2017年より、リヒテンシュタイン交響楽団常任団員も勤める。たつの市音楽協会会員。



グスタフ・ヴォツヒャー (Gustav Wocher) — チェロ・編曲

オーストリア西部フォアールベルグ州の音楽一家に生まれる。7歳よりチェロ、11歳よりピアノをフェルトキルヒ音楽院で始める。2013年ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大に入学し、チェロとピアノを学び、学士課程卒業。2023年、同大学で教育学の学士も取得。2023年からウィーン国立音楽大学で室内楽の修士課程に在籍し、2025年最高位の成績で修了。更にポストグラデウエイトの学生として研鑽を積んでいる。EU圏内の音楽コンクールでの数々の受賞歴だけでなく、第16回ビバホールチェロコンクールで井上賞受賞。現在、リヒテンシュタイン交響楽団首席奏者、フォアールベルク交響楽団の常任団員。作曲・編曲にも取り組み、作品は受賞・放送歴を持つ。オーストリア音楽基礎学校の講師や、オーストリア国内コンクールの審査員を務めるなど、指導面でも評価が高い。語学が非常に堪能で、母国語であるドイツ語の他に、日本語も含む5か国語を独学で習得。昨秋YouTubeチャンネル『ぐすチェロ講座』を日本語で開設。



岸元大周 (Hirochika Kishimoto) — ピアノ

兵庫県赤穂市生まれ。京都市立芸術大学、京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程を卒業。大学院では、F.ショパンの作品を中心に研究、研鑽を積む。大学より推薦され、学内リサイタル、卒業演奏会に出演。元ウィーンフィル管弦楽団のアダルベルト・スコッチ氏と共演。姫路市交響楽団とモーツァルトピアノ協奏曲第20番ニ短調KV.466を共演。平成25年赤穂市文化奨励賞受賞。平成29年度青山音楽財団奨学生。これまでに、二木貴帆、古田紗和、堤芙喜子、阿部裕之の各氏に師事。現在、関西を拠点に、ソロリサイタル、室内楽、伴奏と幅広く活動している。赤穂市音楽協会会長。京都市立芸術大学伴奏員。Music school こんせるニャとわーるを主催。

お客様へのお願い

- ・未就学児の入場は、ご遠慮ください。
- ・災害等により、やむを得ず中止とする場合は、町ホームページ町内告知放送にてお知らせします。

